

柏 崎 市

男女共同参画に関する市民意識調査

報 告 書

令和2年（2020年）2月

柏 崎 市

目次

I	調査概要	1
II	調査結果	
□	回答者ご自身のことについて	
▶	問 1 性別について	3
▶	問 2 年齢について	3
▶	問 3 家族構成について	3
▶	問 4 結婚について	4
▶	問 5 夫婦の働き方について	4
▶	問 6-7 子どもについて	4
▶	問 8-9 職業について	5
□	男女の地位の平等に関する考えについて	
▶	問 10 男女の地位の平等について	6
□	家庭生活などに関する考えについて	
▶	問 11 男女における家庭での役割について	22
▶	問 12 夫婦間での役割分担について	28
□	女性の活躍推進について	
▶	問 13 女性が職業を持つことについて	37
▶	問 14 職場での仕事の内容や待遇面について	40
□	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について	
▶	問 15 優先度について	44
▶	問 16 有給休暇や育児・介護休業について	53
▶	問 17-18 男性の育児休業・介護休業の取得について	63
▶	問 19 仕事と家庭生活の両立について	72
▶	問 20 男性の家事や地域活動等への参加について	76
□	地域活動・社会参画について	
▶	問 21-23 地域活動への参加について	79
▶	問 24 女性の役職への参加について	83
▶	問 25 女性リーダーが少ないことについて	87
□	男女の人権について	
▶	問 26-27 ハラスメントについて	89
▶	問 28-29 ドメスティック・バイオレンスについて	95
▶	問 30 相談窓口について	118
□	男女共同参画に関する取組について	
▶	問 31 政策・方針決定の場における女性の参画について	119
▶	問 32 市が力を入れるべきところについて	121
▶	問 33 法律や用語について	126
▶	問 34 ご意見・ご要望について	129

I 調査概要

1 調査の目的

この調査は、現行「柏崎市男女共同参画基本計画（かしわざき男女共同参画プラン）」の見直しにあたり、「柏崎市男女共同参画推進条例」に基づいて実施し、令和3年度(2021年度)を初年度とする次期計画を策定する基礎資料とするものです。

2 調査内容

- 統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお尋ねします。
 - ▶ 問 1 あなたの性別はどちらですか。
 - ▶ 問 2 あなたの年齢はおいくつですか。
 - ▶ 問 3 あなたが現在生活しているご家庭の家族構成は、次のどれに当たりますか。
 - ▶ 問 4 あなたは結婚されていますか。
 - ▶ 問 5 【問4で「1 結婚している（事実婚を含む。）」と回答した方にお伺いします。】
あなたは共働きをしていますか。それとも夫婦どちらか一方が働いているご家庭ですか。
 - ▶ 問 6 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。
 - ▶ 問 7 【問6で「1 いる」と回答した方にお伺いします。】
あなたの一番下のお子さんは、次のどの項目に該当しますか。
 - ▶ 問 8 あなたのご職業は次のどれに該当しますか。
 - ▶ 問 9 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】
あなたの職場（本社、支店、営業所なども合計した企業全体）の従業員数は、次のどれに該当しますか。

- 男女の地位の平等に関する考えについて
 - ▶ 問 10 あなたは次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。1～8それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。

- 家庭生活などに関する考えについて
 - ▶ 問 11 次の1～2の考え方について、あなたはどう思いますか。1～2それぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。
 - ▶ 問 12 【現在、結婚されている（事実婚を含む。）方にお伺いします。】
あなたのご家庭では、次のような家庭内の仕事等を、夫婦の間でどのように行っていますか。1～8それぞれの項目について、当てはまるものを選んでください。

- 女性の活躍推進について
 - ▶ 問 13 あなたは、「女性が職業を持つ」ことについて、どのように考えますか。あなたのお考えに最も近いものに○を付けてください。
 - ▶ 問 14 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】
あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、次のようなことがあると思いますか。

- 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について
 - ▶ 問 15 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお伺いします。
まず、あなたの希望に最も近いものをこの中から1つだけ選んでください。
(付問) それでは、あなたの現実（現状）に最も近いものをこの中から1つだけ選んでください。
 - ▶ 問 16 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】
あなたの職場では、有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。
 - ▶ 問 17 あなたは、男性が育児休業・介護休業を取ることにどう思いますか。1～2の項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。
 - ▶ 問 18 【問17で「2 男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」と回答した方にお伺いします。】
その理由は何だと思えますか。
 - ▶ 問 19 あなたは、男性と女性がともに仕事と家庭生活を両立させていく環境をつくるためにはどのようなことが必要だと思えますか。
 - ▶ 問 20 あなたは、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思えますか。

- 地域活動・社会参画について
 - ▶ 問 21 あなたは現在、町内会やボランティアなどの地域活動に参加していますか。
 - ▶ 問 22 【問21で「1 参加している」と回答した方にお伺いします。】
それはどのような活動ですか。参加しているものを全て選んでください。
 - ▶ 問 23 【問21で「2 参加していない」と回答した方にお伺いします。】
それはなぜですか。主なものを1つ選んでください。
 - ▶ 問 24 あなたが女性の場合はあなたが、あなたが男性の場合は妻・母親など身近な女性が、もし次のような役職を依頼された場合、どうしますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。
 - ▶ 問 25 現在柏崎市では、町内会などの地域団体において、会長などの役員に女性が少ないのが現状です。
あなたは、地域における活動に女性のリーダーが少ない理由はなぜだと思いますか。
あなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。
- 男女の人権について
 - ▶ 問 26 あなたは、身近でセクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）やパワーハラスメント（権力や地位を利用した嫌がらせ）などのハラスメントを見たり聞いたりしたこと、あるいは自分自身が受けたことやしたことがありますか。
 - ▶ 問 27 【問26で「1 見たり聞いたりしたことがある」「2 受けたことがある」「3 したことがある」と回答した方にお伺いします。】
それはどのような内容でしたか。
 - ▶ 問 28 配偶者（事実婚や元配偶者を含む。）や恋人などから受ける暴力をドメスティック・バイオレンス（DV）といいます。配偶者や恋人との間で1～11のようなことが行われた場合、それをDVだと思えますか。また、あなたの配偶者や恋人から次のようなことをされた経験がありますか。
 - ▶ 問 29 【問28の「経験がありますか」で1つでも「何度もあった」「1、2度あった」と回答した方にお伺いします。】
あなたは、配偶者や恋人からそのような行為をされたとき、どのように行動しましたか。
 - ▶ 問 30 あなたは、配偶者や恋人からの暴力について、相談できる窓口としてどのようなところを知っていますか。
- 男女共同参画に関する取組について
 - ▶ 問 31 審議会の委員など、政策・方針決定の場に女性が参画することについて、あなたはどのように思いますか。
 - ▶ 問 32 あなたは、男女共同参画社会を実現するために、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。
 - ▶ 問 33 あなたは、次に挙げる法律や用語などについて知っていますか。
 - ▶ 問 34 男女共同参画社会を進めていくに当たって、ご意見やご要望がありましたらお聞かせください。

3 調査の設計

- ❖ 調査対象 : 柏崎市に居住する20歳以上の男女
- ❖ 調査方法 : 郵送による配布、郵送回収
- ❖ 標本数 : 2,000人
- ❖ 抽出方法 : 無作為抽出法（系統抽出法）
- ❖ 調査期間 : 令和元年(2019年) 8月27日～9月17日

4 回収結果

- ❖ 配布数 : 2,000人
- ❖ 有効回収数 : 769人
- ❖ 回収率 : 38.5%

5 集計結果の見方

- ❖ 百分率(%)は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。したがって、回答率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ❖ 複数回答(2つ以上選んでよい問)については、回答率の合計が100%を超える場合があります。
- ❖ 図表中に示すN、nは、回答率算出上の基数(標本数)です。標本全数を「N」、該当数を「n」で表記しています。
- ❖ 前回比較とは、平成16年(2004年)、平成22年(2010年)及び平成26年(2014年)に同様の調査を行ったものと比較したものです。
- ❖ 本文・表・グラフは、表示の都合上調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。